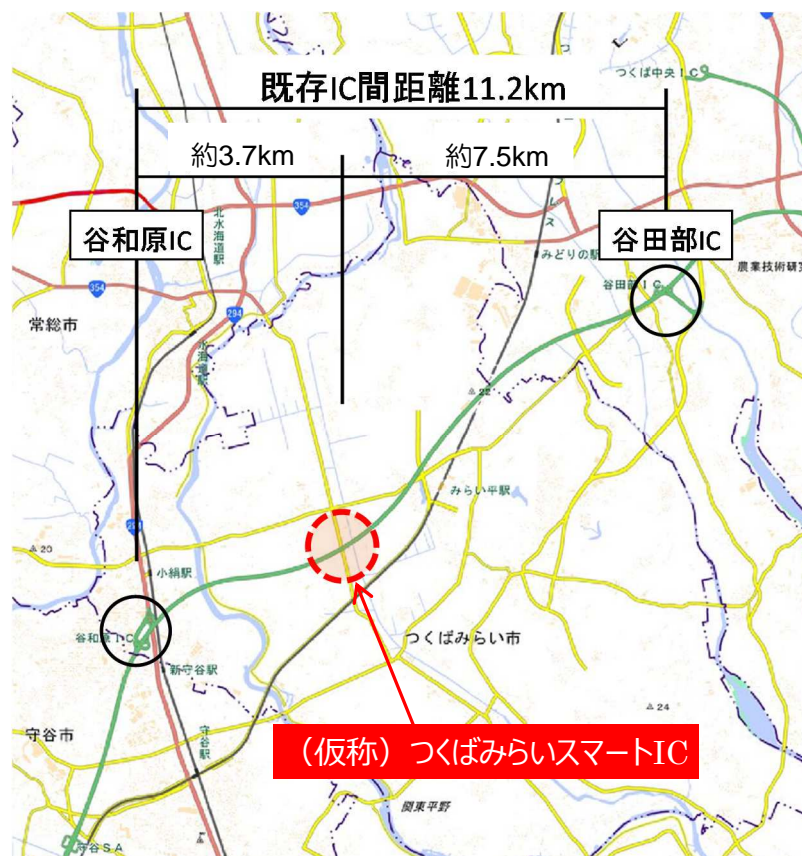


(仮称) つくばみらいスマートインターチェンジ
実施計画書（概要版）



2. 連結位置及び連結予定施設

| | |
|-----------|------------------------|
| 連結位置 | : 茨城県つくばみらい市古川地内 |
| 連結予定施設 上り | : (仮称)つくばみらいスマートIC 1号線 |
| 連結予定施設 下り | : (仮称)つくばみらいスマートIC 2号線 |





6.管理・運営形態

- 利用形態 : 一旦停止型、フルインター形式
(上下線ともに入口・出口として利用可能)
- 対応車種 : ETC車載器を搭載した全車種
(軽自動車等、普通車、中型車、大型車、特大車)
- 運用時間 : 24時間運用
- 監視員配置体制 : 隣接IC等の料金所からの遠隔監視・対応を基本とするが、安全確保のため供用直後は監視員を配置する場合もある。なお、遠隔監視・対応の体制については、今後関係機関と協議していくものとする。



(1) 渋滞回避による高速道路へのアクセス性向上

■現状・課題

- 国道294号は、谷和原IC利用交通や市街地からの交通集中により混雑が発生してる。
- 谷和原IC出口においては、**料金所からランプまで約1km以上の渋滞が、年間80回程度発生している状況**である。
- 市内企業からは、使用頻度の高い谷和原ICまでの道路が混雑して不便に感じるといった意見が挙げられている。

⇒スマートIC整備による効果

- 「TXみらい平駅周辺開発地区」から国道294号を経由せずに高速ICにアクセス可能となり、**谷和原ICまでの所要時間は約8分短縮**が見込まれる。
- 混雑区間における交通転換が図られることで、**谷和原IC周辺道路の混雑緩和に寄与**することが期待される。

■ (仮) つくばみらいスマートIC整備前後におけるつくばみらい市街地から谷和原ICへの所要時間の変化



■主要アクセス道路の混雑状況



写真 国道294号つくばみらい市小絹付近
出典：国道294号常総BP整備促進期成同盟会資料

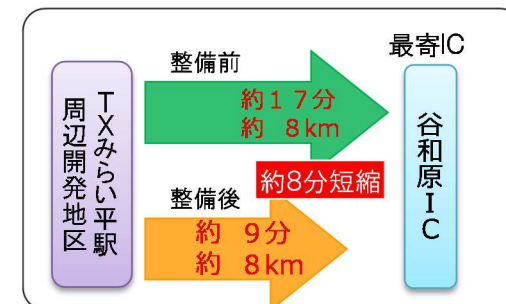
■現況の高速ICアクセスに課題



使用頻度の多い谷和原ICまでに距離があることと、ICまでの道路がよく混むため、非常に不便となっている

出典：
企業アンケート調査結果(H29.12)
つくばみらい市都市建設部 建設課

■みらい平地区からの走行時間短縮





(2) IC間距離の不均等解消による利便性向上

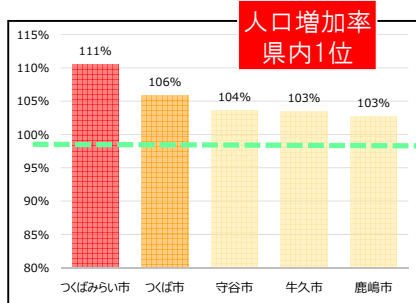
■現状・課題

- 茨城県内の市町村別人口増加率（H22・H27国勢調査）をみると、つくばみらい市では増加傾向を示しており、県内で唯一10%以上増加。
- 谷和原IC～谷田部IC間の距離は、11.2kmと長く、常磐道（茨城県内）では2番目に長い区間となっている。
- 市役所（伊奈庁舎）周辺やTXみらい平駅周辺開発地区といった**中心市街地は、高速ICからの10分到達圏域外**であり、生活拠点からのIC利用に不便さを感じている。

⇒スマートIC整備による効果

- 中心市街地がIC10分到達圏域内**となり、その圏域内の人口は**約2.2万人の増加**が見込まれる。
- 高速IC間距離の不均等が解消され、さらに高速ICアクセス性が向上することにより、**周辺住民や周辺企業の利便性向上**が期待される。

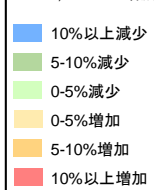
■茨城県内市町村別人口増加率



人口増加率
県内1位

茨城県総人口
増加率=98.2%

H22,H27人口増減

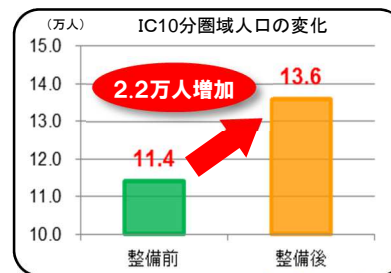


県内で唯一
10%以上増加

つくばみらい市

出典:H22,H27国勢調査

■常磐自動車道のIC10分到達圏域



福岡地区工業専用地域及び
福岡工業団地(整備中)

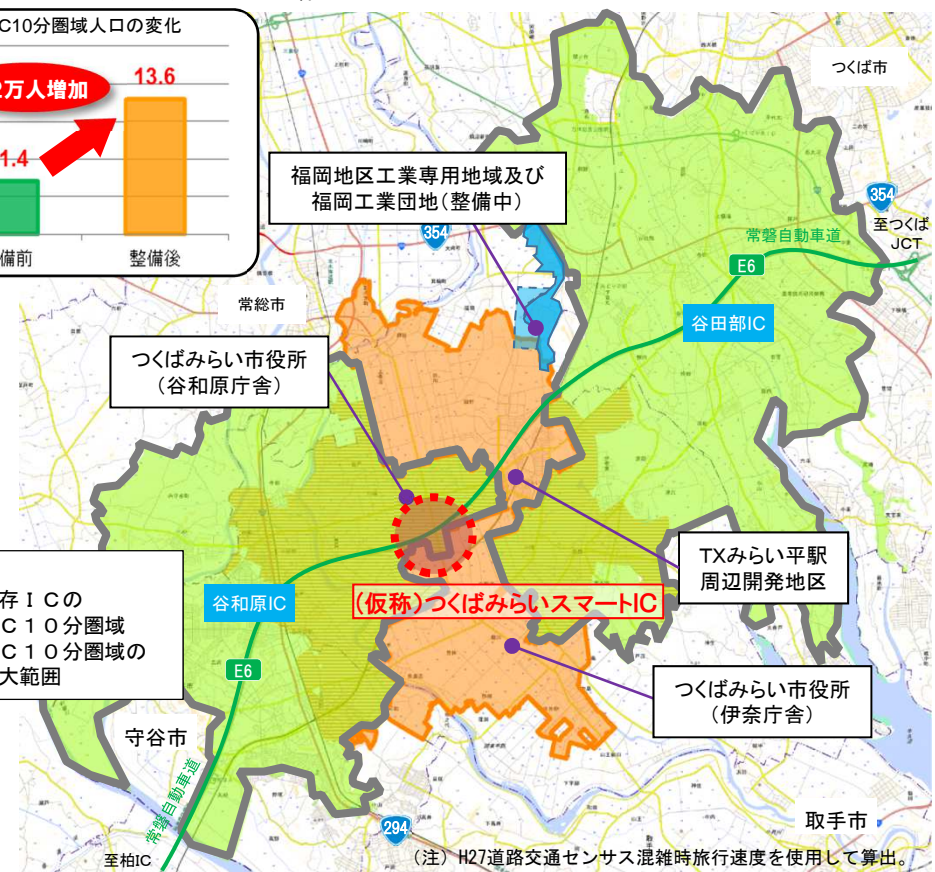
つくばみらい市役所
(谷和原庁舎)

TXみらい平駅
周辺開発地区

つくばみらい市役所
(伊奈庁舎)

凡例

- 既存ICのIC10分圏域
- IC10分圏域の拡大範囲



(注) H27道路交通センサス混雑時旅行速度を使用して算出。



(3) 地域ポテンシャルの向上による地域の活性化

■現状・課題

- みらい平地区(伊奈・谷和原丘陵部地区)の計画人口は16,000人に対し、H31.4月時点の常住人口は14,259人(89.1%)となっている。
- 平成29年度で事業期間が満期となったが、計画人口に対し**常住人口は未だ1,741人が不足している**(H31.4時点)。
- 周辺には集合住宅の他、商業施設等も続々と立地しているが、高速ICから離れているため、高速道路へアクセスしづらい状況である。
- 周辺企業からも**高速道路へのアクセス改善が求められている**。

⇒スマートIC整備による効果

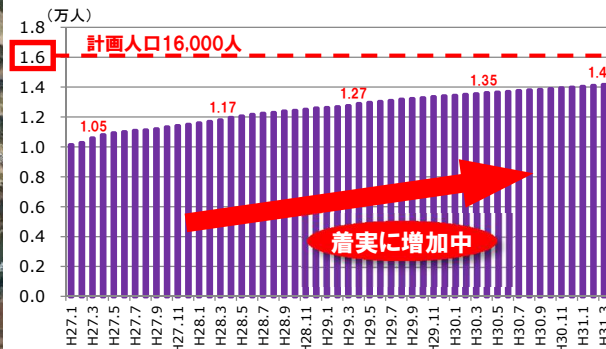
- **新たな企業進出**やそれに伴う雇用の創出など**地域ポテンシャルの向上**が期待される。
- 人口増加や企業活動の活性化につながる**ことが期待される**。



■みらい平地区(伊奈・谷和原丘陵部地区)

- ・施行面積 約274.9ha(土地区画整理事業)
- ・計画人口 16,000人
- ・H31.4時点の常住人口 14,259人(89.1%)
- ・事業期間 H3~H29年度(清算期間5年含む)

■地区内人口の推移



■地域ポテンシャル向上への期待



みらい平地区は、他県から移住するお客様が多く、発展途上である一方、高速道路のICと離れており、孤立しているイメージ。スマートICが設置されることで、利便性が向上し、**人口増加**や**地区内への企業進出**に期待できる。

出典:企業ヒアリング調査結果(H30.12)



(4) 企業活動効率化への貢献①

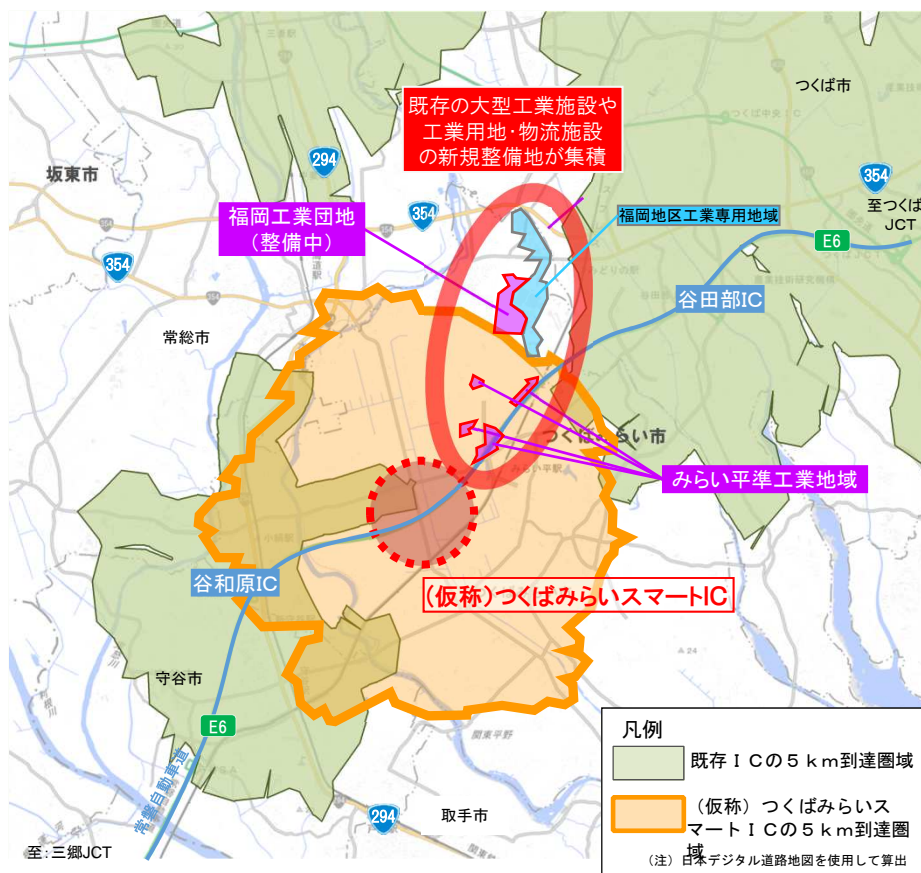
■現状・課題

- みらい平駅の市街地を中心に、ICまで5km以上離れている地域が広がっている。
- 企業アンケート調査の結果、約8割の企業がスマートICの整備により物流の効率化が図れると回答している。
- 福岡工業団地の整備やみらい平準工業地域での大型物流施設建設も進んでおり、**高速道路へのアクセス改善が求められている。**

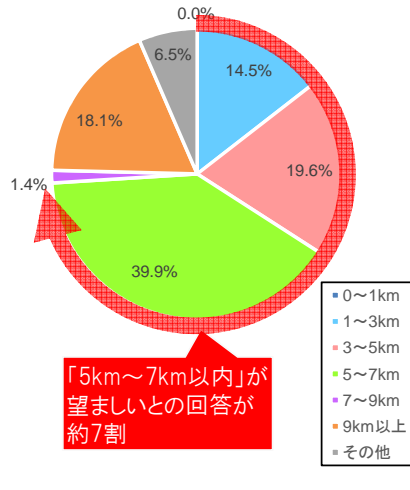
⇒スマートIC整備による効果

- つくばみらい市内における高速IC5km到達圏域は約2倍に増加し、**高速道路へのアクセス性が向上し、企業活動の効率化が期待される。**

■高速IC5km到達圏域と工業関連施設立地状況



■高速ICまでの望ましい距離

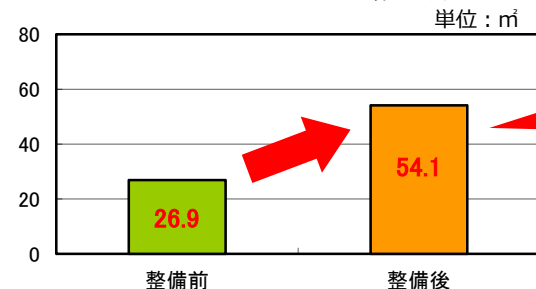


つくばみらい市・近隣市を対象とした企業アンケート調査結果 (H29.12) (有効回答数n=138)

■SIC整備による企業活動に波及するメリット・デメリット



■市内高速IC5km到達圏域面積の変化



つくばみらい市内の高速5km到達圏域が約2倍に増加



(4) 企業活動効率化への貢献④

■現状・課題

- つくばみらい市内には、フリージアやトルコギキョウ、切花葉牡丹、シクラメン、ゼラニウム等を生産する花卉農家が多く立地しており、その中でもフリージアを生産する農家は個人事業で国内3位の生産量を誇る。
- フリージアは、収穫後にJA茨城みなみ農協倉庫に一旦集荷し、そこから高速道路を利用して東京都中央卸売市場（葛西市場や大田市場）に陸送している。
- 切り花の鮮度や品質保持のために低温での冷蔵保管や専用バケツによる輸送等を行う必要があるため、高品質な花を提供するためには輸送時間の短縮や輸送振動の低減が大きな課題となっている。

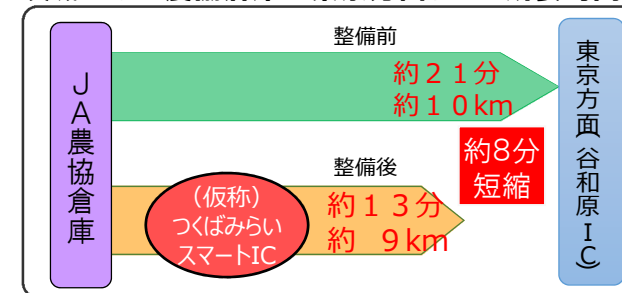
⇒スマートIC整備による効果

- 高速道路へのアクセスが向上し、JA農協倉庫から東京方面への所要時間は約8分の短縮が見込まれる。
- 高速道路の利便性向上に加え、生産規模の拡大や新鮮で高品質な花卉の消費拡大等、企業活動の効率化につながる事が期待される。

■JA茨城みなみ農協倉庫から東京方面への運送経路



■JA茨城みなみ農協倉庫→東京方面までの所要時間



出典：H27道路交通センサス混雑時旅行速度により算出

■市内フリージア生産農家情報

- 個人事業では国内3位の生産量。
- ビニールハウス増設に今年着手。生産規模の拡大を図る。
- 新品種の試作による需要拡大や栽培密度見直しによる高品質化を目指している。

■市内でフリージアを生産する花卉農家の声



切り花は鮮度の保持が難しい。高品質な花を提供するには輸送時間の短縮が重要である。生産規模の拡大も予定しており、スマートICの整備で輸送時間が短縮できればありがたい。

フリージア生産農家

出典：企業ヒアリング調査結果(H30.10) つくばみらい市都市建設部建設課



(6) 医療空白地域における救急医療アクセス支援

■現状・課題

- つくばみらい市には、二次・三次救急医療施設がなく、**医療空白地域**となっている。
- 三次救急医療施設である筑波メディカルセンター病院までは、つくばみらい市中央部から一般道を利用して搬送している状況。
- つくばみらい消防署の**過去10年の救急出動件数・搬送人員は増加傾向**であり、**より円滑・確実な救急搬送が求められている**。

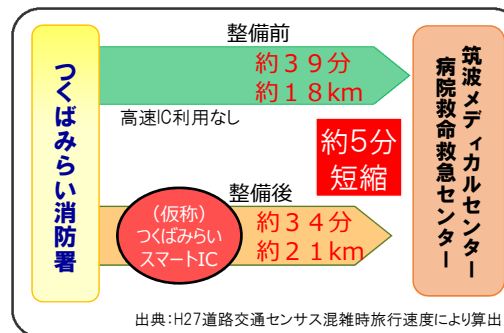
⇒スマートIC整備による効果

- つくばみらい消防署から筑波メディカルセンター病院（三次救急医療施設）までの**搬送時間は約5分短縮**し、カーラーの救命曲線に基づき試算した**多量出血時の死亡率は約9%の改善**が見込まれる。
- 高速道路を利用した救急搬送が可能となり、**搬送時間の短縮による地域医療サービスの向上**が期待される。

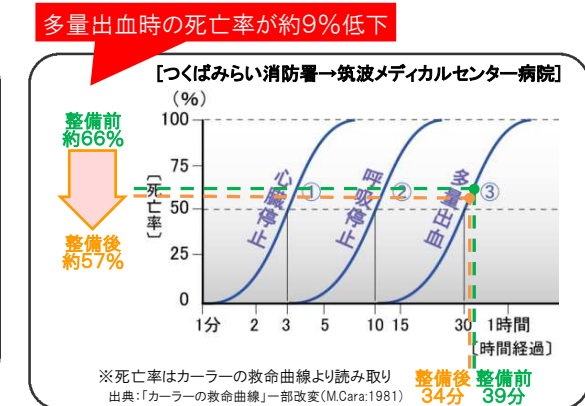
■つくばみらい消防署から三次救急医療施設までの利用経路



■筑波メディカルセンター病院まで整備前後の所要時間



■所要時間短縮による救命率の向上



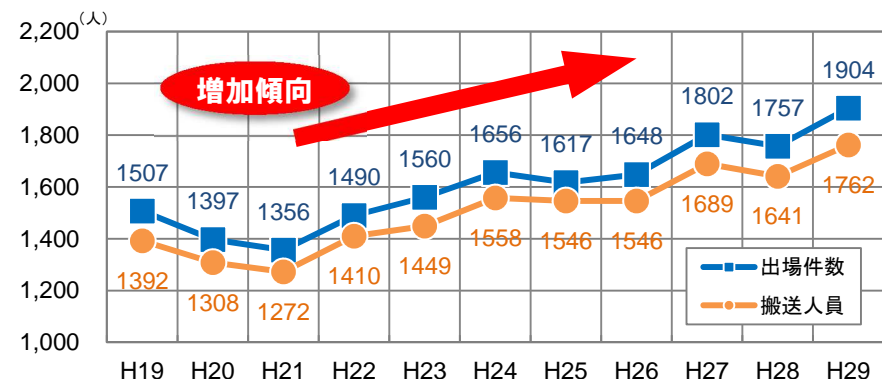
■スマートIC整備による搬送時間短縮への期待



市の中央部にスマートICができれば、**つくばみらい市中央部や取手市から筑波メディカルセンター病院への搬送で利用する可能性が高い**。
特に、つくばみらい市内の県道は道路が狭く、いつも渋滞しているので、**搬送時間の短縮に期待**できる。

出典：ヒアリング結果(H29.10)常総地方広域市町村圏組合消防本部 警防課

■つくばみらい消防署における救急出動件数・搬送人員の推移



出典：常総地方広域市町村圏組合消防本部 消防年報



(7) 観光振興への寄与①

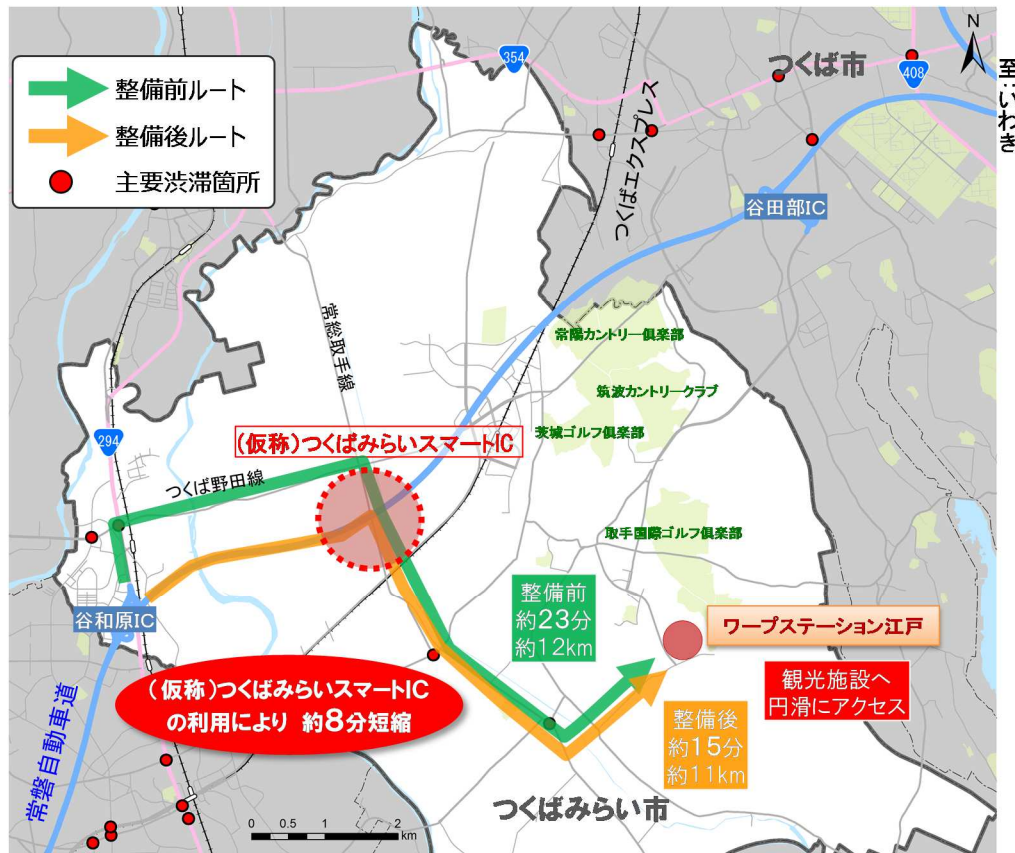
■現状・課題

- つくばみらい市内には、首都圏随一の時代劇ロケ地である『ワープステーション江戸』が立地されている。
- 大正～昭和初期頃の建物や全天候対応スタジオの建設を目的とした**大規模拡張工事（拡張規模約1.2倍）が平成30年6月に完了**。平成31年1月26日から一般公開されている。
- 当施設の入場者数は近年増加傾向にあり、それに追隨して**市の観光入込客数も増加傾向**となっている。

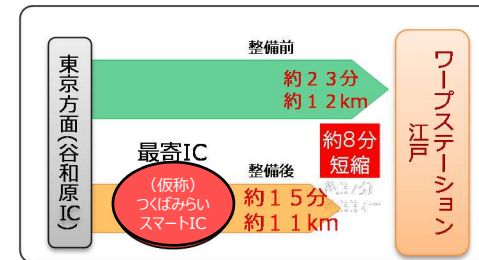
⇒スマートIC整備による効果

- **観光施設へのアクセス向上**が見込まれ、また県内外からの観光客の増加も図られ、**観光振興に寄与**することが期待される。

■つくばみらい市のレジャー・観光施設立地状況



■ワープステーション江戸までの整備前後の所要時間



出典: H27道路交通センサス混雑時旅行速度により算出

■ワープステーション江戸の概要



- 首都圏唯一の時代劇が撮影できる観光施設。
- H31大河ドラマ「**いだてん**」や連続ドラマ小説等で使用する大正～昭和初期頃の建物やスタジオの建設を目的とした**大規模拡張工事（拡張規模約1.2倍）**がH30.6に完了。H31.1一般公開。



(7) 観光振興への寄与②

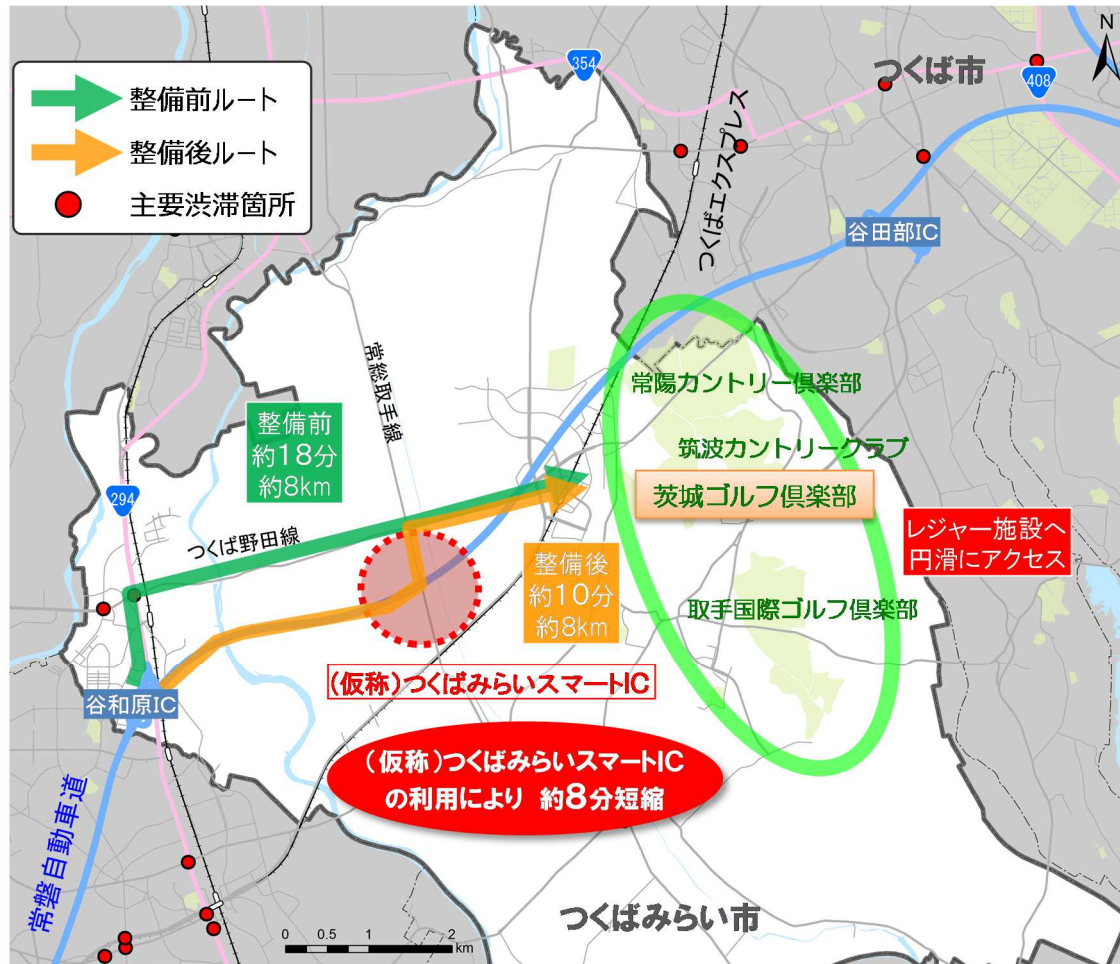
■現状・課題

- つくばみらい市内には、ゴルフ場が多数立地している。
- 特に日本女子プロゴルフツアー公式戦の開催時期には非常に多くの集客があり、入場者数の推移は近年増加傾向となっている。

⇒スマートIC整備による効果

- 混雑区間を回避するルートが確立され、東京方面からゴルフ場までの所要時間は約8分短縮が見込まれる。また、レジャー施設へのアクセス性が向上し、県内外からの観光客の増加が図られ、観光振興に寄与することが期待される。

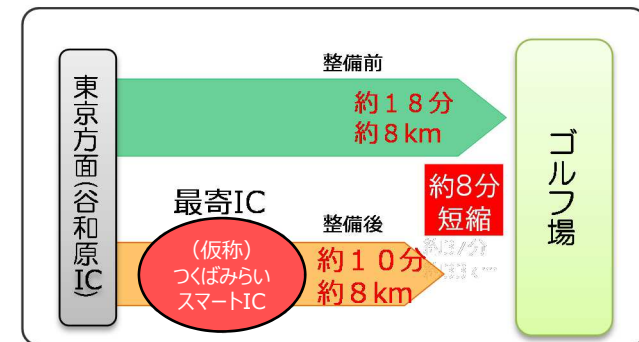
■つくばみらい市のレジャー・観光施設立地状況



至:東京

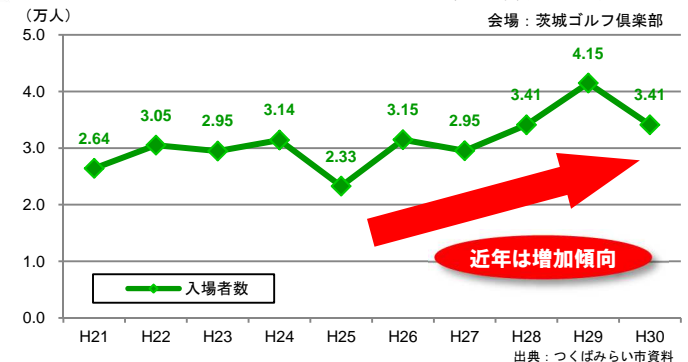
出典:Esri Japan

■著名なゴルフ場までの整備前後の所要時間



出典:H27道路交通センサス混雑時旅行速度により算出

■ワールドレディスチャンピオンシップ来場者数の推移(H21~)



<ワールドレディスチャンピオンシップ(サロパスカップ)とは...>

- 女子プロゴルフLPGAツアー公式戦の大会。
- 平成21年度から市内の「茨城ゴルフ倶楽部」にて開催されている。
- サロパスカップ2017(H29)の来場者数はのべ41,484人で、これは歴代の女子プロ大会で第8位の数字(歴代1位は2005年開催の日本女子オープンで48,677人)。